

〔28年4月 部員集合写真〕



大島海洋国際高校 硬式野球部

大島海洋国際高校野球部
監督 増子良太

○ 大島海洋国際高校 硬式野球部について

ここからは、本校硬式野球部についてご紹介します。

こちらをご覧くださいと「厳しくないか!？」と感じる人もいると思います。しかし、そうした厳しさがあっても、部員たちは必死になってついて来てくれています。そうした部員たちの姿を見て、私は彼らが本気で甲子園を目指しているのだと実感します。私たちと一緒に、本気で甲子園を目指してみませんか？

〔28年3月春季大会ブロック予選の写真〕

【試合の様子】



【試合後の集合写真】



〔部活動の方針〕

○高校野球を通じて社会で強く生きていける人間の育成

○学校、ドミトリ(寮)、地域から応援される人・チーム育成

本校野球部は、前述の方針のもと活動をしています。

まず1つ目の方針「**高校野球を通じて社会で強く生きていける人間の育成**」について私の考えをお話します。

みなさんは、数年後には社会に出て仕事に就くことになります。そうした未来あるみなさんに、私は、社会の荒波に負けず強く生きてほしいと思っています。社会の荒波にのみこまれ、せっかく就いた仕事をキャリアアップ以外の理由で辞めてもらいたくありません。だからこそ、高校野球を通じて、社会生活を強く生きていく上で必要だと思われる「礼儀作法」「コミュニケーション能力」「自主性」「忍耐力」「継続力」「行動力」などが身に付いていくような指導を心がけています。

次に2つ目の方針「**学校、ドミトリ(寮)、地域から応援される人・チーム育成**」について私の考えをお話します。

東京都立大島海洋国際高等学校 硬式野球部紹介

感じたことがある人もいると思いますが、学校の先生をはじめ、周囲の方々からの応援はみなさんに大きな力を与えてくれます。大会で勝ち上がっていくためには、野球が上手いだけでなく、様々な人から応援され、その力を味方につけていく必要があると考えています。だからこそ、学校生活やドミトリでの生活を疎かにさせない指導しており、時にはお世話になっている地域の清掃活動もおこなっています。特に学校生活やドミトリ生活を中心に考えさせ、「部活動をやっていただければいいだけの部活」と言われないように、挨拶や服装、居室の整理整頓などの生活態度、授業態度や成績、宅習の取り組みなどの学習面、その他行事における会場設営などの手伝いを積極的におこなっています。

こうした方針を理解し、厳しい環境の中で本気で高校野球をしたいと考えている人と私たちは野球がしたいと思っています。野球の上手い下手ではなく、やる気のある人を大募集しています。

〔部員数〕

学年	男	女	
3年生	7	0	
2年生	3	0	
1年生	3	1	28年5月現在
合計	13	1	14名

現在は、マネージャーを含む14名で活動をしています。しかしながら、1,2年生が中心となる新チームでは、1,2年生のプレーヤーが6名しかおりませんので、本校単独での大会参加が困難な状況です。秋と春の大会

は、他校と合同チームでの大会参加をする予定です。現在

は人数も少ない状況ですが、大島海洋国際高校野球部で野球をやりたい中学生の力を借りて、夏の大会は単独での出場できればと思っています。本校野球部の歴史と一緒に作っていきませんか？

〔部員の出身中学〕

品川区大崎、調布市第三、西東京市田無、目黒区第一、江戸川区二之江、足立区第九、足立区第十四、世田谷区砧、江戸川区葛西、大島町第三

現在所属している部員の出身中学校は以上になっています。

寮のある学校なので、一定の地域に偏ることなく、全都から本校に入学し野球部に入部してくれています。また、現在は島内出身者も数名います。



〔チームの最終目標(夏の大会の目標)〕

『甲子園で1勝する』

この目標については、新チーム結成時（昨年の7月）に部員たちが長い時間ミーティングをおこなって決めたものです。最初は意見が割れましたが、最終的にはこの目標を全員で目指すことになりました。この目標が部員たちの頭の中にあるからこそ、厳しい日常生活や練習に耐えていくことができているのだと思います。

こうした目標を聞いて、「そんなの無理だよ…」ではなく、「甲子園にいったやる！」と前向きに思える人は、是非本校野球部と一緒に野球をやしましょう。今は野球の技術が全国レベルでなくてもいいのです。そうした気持ちがあれば、技術は必ず後からついてきます。そして、全国レベルに近づくためのサポートを是非とも私にさせてください。みなさんを待っています。

